

第1期 ロジスティクス環境会議 第4回本会議 議事録

・日 時：2006年3月15日（水） 14：30～16：30

・場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 地下1階 おり鶴 「麗の間」

・出席者：95名

・議 案：

- 1) 第1期活動の概要について
- 2) 各委員会の活動報告および提案について
 - (1) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会
 - (2) 源流管理による環境改善委員会
 - (3) 省資源ロジスティクス推進委員会
 - (4) リバースロジスティクス調査委員会
 - (5) 共通基盤整備委員会
 - (6) 広報・普及専門委員会
- 3) 第1期活動の総括について
- 4) 「ロジスティクス環境宣言」(案)について
- 5) 2005年度収支決算(案)について
- 6) 第2期活動について

・開 会

事務局の徳田より開会が宣された。

・張議長より、開会の挨拶がなされた。

・議事の経過

張議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

1) 第1期の活動概要について【資料1】

小西企画運営副委員長より、以下のとおり第1期活動の概要の確認がなされた。

・ロジスティクス環境会議の目的、目標

環境会議の目的：循環型社会を実現するロジスティクスの構築

～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

環境会議の目標：行政・自治体・大学等の研究機関・関連団体と連携を図りながら、環境と調和したロジスティクス方針・活動を通じて、循環型社会を実現するロジスティクスの構築に取り組む企業を増やす。

- ・ グランドデザインのミッションに基づく委員会が構成され、各委員会にて課題解決に向けた検討を行なった。

- ・各委員の活動支援を行なう「共通基盤」、検討内容や成果を普及するため「広報・普及」の委員会も併せ、ロジスティクス環境会議全体として、第1期の活動を推進した。

2) 各委員会の活動報告および提案について 【資料2 - 1、2 - 2】

以下のとおり、各委員会の委員長又は副委員長により、第1期活動の成果と課題等について、説明がなされ、第1期の活動成果として確認がなされた。

(報告者)

- (1)環境パフォーマンス評価手法検討委員会・・・増井委員長
- (2)源流管理による環境改善委員会・・・小西委員長
- (3)省資源ロジスティクス推進委員会・・・山本委員長
- (4)共通基盤整備委員会・・・下村副委員長
- (5)リバースロジスティクス調査委員会・・・菅田委員長
- (6)広報・普及専門委員会・・・黒坂副委員長

3) 第1期活動の総括について【資料3】

小西企画運営副委員長より、資料3に基づき、循環型社会を実現するロジスティクス・グランドデザインを推進するため、環境負荷低減活動に「取り組む企業」を増やすための基盤整備活動を展開してきた。加えて、各種施策の提示および活動支援ツール等を作成した旨、第1期活動の総括として確認がなされた。

なお、運営面として、委員会間の情報共有が課題であることが併せて確認がなされた。

また、第1期活動の総括が確認された後、プラネット物流(株)、諸星氏より、ロジスティクス環境会議のような、荷主企業と物流企業が同じテーブルを囲んで議論できる場はあまりないため、継続的な活動をお願いしたい。また、ロジスティクス、物流分野における取り組みは、始まったばかりであるので、特に、取引条件の見直し、サプライチェーン、リバースチェーンの共同物流のプラットフォームの推進については、行政の方々にもご支援いただきながら、進めていただきたい旨の要望がなされた。

4) ロジスティクス環境宣言(案)について【資料4】

小西企画運営副委員長より、資料4に基づき、ロジスティクス環境会議およびそのメンバーは、循環型社会を実現するため、物流分野の環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、積極的に活動に取り組むことを宣言する旨の「ロジスティクス環境宣言(案)」の提案がなされた後、全会一致にて採択された。

5) 2005年度収支決算(案)について【資料5】

事務局の徳田より、資料5に基づき、2005年度収支決算(案)について説明が行われた後、全会一致にて承認された。

6) 第2期の活動について【資料6】

事務局の徳田より、資料6に基づき、第2期活動のスケジュールについて説明が行われた後、全会一致にて承認された。

. 閉 会

張議長より、各メンバーに対する3年間の活動の御礼および第1期の成果を踏まえ「ロジスティクス環境宣言」の実行と第2期活動への継続なご参加をお願いしたい旨の閉会の挨拶がなされた後、張議長は閉会を宣した。

. 懇親会

会議終了後、引き続き「翠鳳」にて懇親会が行われた。

以 上